

アンケート用紙

横手市まるごと福祉課

令和5年度 ひきこもりに関する調査（横手市）

■この調査は、民生委員・主任児童委員、福祉協力員の皆様が日頃から把握されているひきこもり等の状態にある方の数や状況等の情報を集計するものです。

この調査のために新たな活動（訪問など）を行っていただく必要はありません。

回答していただく時点で把握している情報のみを記入してください。

■この調査は、今後のひきこもり支援施策の基礎資料とするため、市民への実態調査アンケート「市民の生活状況に関する調査」と併せて行うものです。

■この調査での「ひきこもり等の状態にある方」とは

おおむね15歳（中学校卒業後）から64歳までの方で、次に該当するような方です。

- ① 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方。
- ② 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々（会話を必要としない）買い物などで外出することがある方。

※ただし、重度の障がい（身体・知的・精神）、疾病、高齢等で外出できない方は除きます。

■調査対象地域 あなたが受け持っておられる地域とします。

■調査の基準 **令和6年2月1日現在**とします。

■回答方法 同封の返信用封筒にいれ、2月26日（月）までご投函またはお近くの地域局市民サービス課・まるごと福祉課（本庁舎1階⑦番窓口）にお届けください。

地域： _____ 地区 _____

（例 横手地域： ○○地区 ）

個々の回答について、外部に出ることはありません。

問1 あなたの役割を教えてください

※いずれか該当する項目をチェックしてください

- 民生委員
- 主任児童委員
- 福祉協力員

問2 受け持ち地域に、ひきこもり等の状態にある方（おおむね15歳【中学校卒業後】から64歳まで）はおられますか

※いずれか該当する項目をチェックしてください

- いない ⇒ 問6へお進みください
- いる ⇒ 問3へお進みください

問3 問2で「いる」とお答えの場合、何人いらっしゃいますか

ひきこもり等の状態にある方の人数： _____人

問4 問3の方がひきこもり等の状態であることをどのように知りましたか

※いずれか該当する項目をチェックしてください（対象の方全員についてお答えください）

- 家族から相談を受けた
- 家庭訪問の際にたまたま知った
- 近隣の人からたまたま聞いた
- 前任者から聞いた
- その他（ _____ ）

問5 問3の方の状況をお教えてください（添付の個票にご記入お願いします）

- 該当する方お一人につき、回答用紙1枚をお使いください
- 該当する項目をチェックしてください
- 1世帯に2人以上おられる場合は、1人につき1枚をお使いください
※3枚（3人分）同封してあります。ご氏名は記入いただかなくて結構です
- 該当する方が多く、用紙が足りない場合は、回答用紙をコピーしてください

⇒ 個票に記入後、問6へお進みください

問6 受け持ち地域のことにかかわらず、ひきこもり等の状態にある方への支援策として、必要だと思われることをお答えください

※該当する項目をチェックしてください (複数回答可)

- 医療支援・カウンセリング等の充実
- 支援・総合窓口の周知・PR
- 行政の相談窓口の充実
- 身近な地域での相談窓口の設置 (行政以外)
- 家族がひきこもりについて学ぶ学習会等
- 当事者家族の居場所 (同じ境遇にある家族同士が対話できる場所など) の整備
- 市民を対象とした講演会などによる啓発
- その他 ()

上記の支援策が必要だと思われた理由を簡単にご記入ください

問7 ひきこもりに関する対応について、困っていることなどがありましたらお答えください

問8 ひきこもり等の状態にある方がいるご家庭で困っていると思われること、または実際に困り事を相談されたことがある場合はその内容をご記入ください (わかる範囲で結構です)

問9 その他、ご意見やお気づきの点がございましたら、自由にご記入ください

問10 受け持ち地域にひきこもり等の状態にある65歳以上の方はいますか

※いずれか該当する項目をチェックしてください

いない

いる

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

【お問合せ先】 市民福祉部まるごと福祉課 地域福祉係

「ひきこもりに関する調査」調査担当まで

横手市中央町8番2号（本庁舎1階）

TEL 0182-23-5881 FAX 0182-33-7838

Eメール：marugoto@city.yokote.lg.jp